

4歳児（さくら組）保育指導案

1 幼児の実態と教師の願い（省略）

2 期のねらいと内容（9月～10月）

- 気の合う友達や教師と一緒に遊ぶ中で、友達の遊びや動きに関心をもつ。
- 身近な秋の自然に興味をもち、ふれたり遊びに取り入れたりすることを楽しむ。
 - ・気の合う友達や教師と誘い合って一緒に遊ぶ楽しさを感じる。
 - ・自分が感じたことや考えたことを言葉や動きで友達や教師に伝える。
 - ・運動遊びや簡単なルールのある遊びに興味をもち、体を動かす心地よさを感じる。
 - ・虫の鳴き声を聞いたり木の実や種を集めたりしながら季節の移り変わりに気付き、秋の訪れに関心をもつ。

3 週のねらいと内容（10月23日～10月27日）

- 気の合う友達や教師と思いや考えを出し合いながら遊ぶ楽しさを感じる。
- 身近な秋の自然に興味をもち、取り入れて遊ぶことを楽しむ。
 - ・友達や教師と一緒に伸び伸び体を動かして遊んだり、簡単なルールのある遊びに挑戦したりする。
 - ・自分の思いを言葉や動きで伝え、友達や教師に伝わる喜びを感じる。
 - ・友達の思いや考えを聞き、関心をもつ。
 - ・木の実や種を探したり遊びに取り入れたりして楽しむ。

4 本日のねらいと指導計画

ねらい

- 自分の思いや考えを言葉や動きで伝え、伝わる喜びを感じながら、友達や教師と一緒に遊ぶ楽しさを味わう。
- 身近な秋の自然にふれ、木の葉や実を使って遊ぶおもしろさを感じる。

時刻	予想される幼児の生活・内容	指導の要点と環境構成
7:40	<ul style="list-style-type: none"> ○登園する。 <ul style="list-style-type: none"> ・教師や友達と挨拶を交わす。 ○登園時の活動をする。 <ul style="list-style-type: none"> ・持ち物の始末をする。 ○自ら選んだ遊びをする。 <p>体を動かして遊ぶ。☀️☂️</p> <ul style="list-style-type: none"> ・友達や年長児の姿を真似て、ボールを避けたり投げたりしながら、ドッジボールに挑戦する。(☀️☂️) <ul style="list-style-type: none"> ・友達や年長児と一緒にジャンケンをして喜びや悔しさを感じながらゴールを 	<ul style="list-style-type: none"> ○一人一人の幼児に挨拶をして温かく迎え、会話をしながら心身の健康状態を把握するとともに、安定した気持ちで活動ができるように関わる。 ○幼児の発達や心身の状態に応じたきめ細かな援助を行い、取り組んでいる姿を認め、自分でしようとする意欲につなげる。 ○自分の興味のある遊びを十分に楽しめるように、安全面に配慮しながら見守ったり一緒に遊んだりする。また遊びが見つけれない幼児には一緒に遊びながら様々な遊びに関心がもてるようにする。 ○友達や年長児と一緒に伸び伸び体を動かして遊ぶ楽しさやボールを避けられたうれしさ、投げる楽しさ等に共感したり認めたりして自信がもてるようにする。 ○ルールのある遊びの楽しさやみんなと遊ぶおもしろさを味わえるよう、幼児の様子を見ながらルールを知らせたり、友達や年長児に教えてもらえるような仲立ちをしたりする。 ○自分の力を出しながら頑張ることで達成感を味わえるよう励ましていく。幼児の頑張る姿を

<p>10:20</p>	<p>めざしてドンジャンケンをする。 (☀️)</p> <ul style="list-style-type: none"> 固定遊具で友達と一緒に体を動かして遊ぶ心地よさを味わったり目標をもって挑戦したりする。(☀️) <p>リズム遊びをする。☀️🌂</p> <ul style="list-style-type: none"> 友達や年長児と一緒に踊り、体全身で表現することを楽しむ。 友達や年長児と一緒に作った衣装やポンポンを身に付け、うれしさを心地よさを感じながら表現する。 <p>秋の自然物を使って遊ぶ。☀️🌂</p> <ul style="list-style-type: none"> 木の葉や実、草花を使って、友達や年長児を真似たり一緒に考えたりしながらイメージしたものを作る。 自分の思いや考えを出しながら、友達や年長児と一緒に、ドングリやオナモミ等の自然物を使った遊びを考えたり遊んだりする。 <p>砂遊びをする。☀️</p> <ul style="list-style-type: none"> 友達や年長児と一緒に山や川を作り自分のイメージしたものが形となっていくうれしさや友達と力を合わせて取り組むおもしろさを味わう。 木の葉や実等を飾って遊んだり友達と一緒に考えを伝えたりしながら見立て遊びをする。 <p>○片付けをする。</p>	<p>いるところを認めたり、その姿を友達や年長児にも伝えたりし、周りから受け入れられる喜びや応援してもらううれしさを感じられるようにする。</p> <p>○ブランコに乗って風の心地よさを感じたり、友達に刺激を受け鉄棒に挑戦したりする姿を言葉や表情で励まし認め、意欲を高めていけるようにする。また友達の頑張りに目を向け、みんなで応援し、友達のよさに気付けるように言葉をかける。</p> <p>○教師も一緒に踊ったり客役になって手拍子をしたりして楽しさを共有する。幼児の姿を教師が真似て、幼児の表現を受け止め、自信をもって取り組めるようにする。</p> <p>○衣装の工夫しているところや素敵などころを具体的に伝え、幼児の考えやイメージを認め、表現する意欲が高まるようにする。</p> <p>○木の葉の色や形の違いに気付いたり、実等で様々な形に組み合わせるおもしろさを感じたりできるように言葉をかける。また工夫する楽しさや、友達や年長児とやりとりをしながら作る楽しさを味わえるようにする。</p> <p>○友達や年長児と思いや考えを出し合ったり一緒に作ったりする楽しさを感じ、互いの考えを受け入れながら遊ぶおもしろさを感じられるように仲立ちをする。</p> <p>○友達と一緒にイメージを伝えながら取り組んだり、年長児に刺激を受けてイメージしたものを作ったりできるように、それぞれの考えやイメージを受け止め、周りにも伝えるよう配慮する。その中で、それぞれのアイデアやよさを認め、受け入れられる喜びを感じ自信をもって取り組めるようにする。</p> <p>○自然物を使って表現するおもしろさや「もっとこうしてみよう」とアイデアが出てくるような言葉かけを工夫する。友達と考えたり思いを伝えたりする様子を見守り、友達とつながって遊ぶ楽しさを感じられるようにする。</p> <p>○次週からの遊びに期待がもてるよう言葉をかけながら片付けるとともに、自分が使った物を片付けて物を大事に扱ったりきれいにする心地よさを感じたりできるよう励まし認</p>
--------------	--	--

11:00	<p>○降園時の活動をする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・降園準備をする。 ・今日の園生活について振り返る。 <p>○降園する。</p>	<p>めていく。</p> <p>○ゆったりとした雰囲気の中で幼児の思いを受け止め共感し、幼児自身が自分の思いを伝える方法を知ったり人に認められる喜びを感じたりできるようにする。また友達の思いを聞き、様々な遊びに関心をもったり友達の思いやよさに気付いたりする機会にしていく。</p> <p>○幼児一人一人と丁寧に挨拶を交わし、安定した気持ちで降園できるようにする。</p>
評 価	<p>(幼児の育ちをとらえる視点)</p> <p>○自分の思いや考えを言葉や動きで伝えながら友達や教師と一緒に遊ぶ楽しさを感じることができたか。</p> <p>○身近な秋の自然に興味をもち、ふれたり遊びに取り入れたりして遊ぶことを楽しめていたか。</p> <p>(自らの保育を振り返る視点)</p> <p>○幼児が自分の好きな遊びに取り組む中で、言葉や動きで表現する幼児の思いを丁寧に聞いたり受け止めたりして、幼児の思いが教師に伝わる喜びや充実した気持ちを感じる援助や言葉かけができたか。</p> <p>○友達と互いの思いを伝え合いながら遊ぶ姿を見守り、イメージの共有ができるように仲立ちをする等友達とつながって遊ぶ楽しさを感じられるような援助ができたか。</p> <p>○幼児が秋の自然に興味をもって関わり、豊かな感性につながるような環境構成や援助ができたか。</p>	